

平成 25 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス					
教科目名	プロジェクトマネジメント	担当教員	大野 幸一 (非常勤)		
学年学科	2 年次 全専攻	後期	選択	2 単位	
学習・教育目標	(B-1) 50%、(D-5) 50%		JABEE 基準1(1):(e)(50%) (h)(50%)		
授業の目標と期待される効果： 企業での業務は、やり方の決まった定型業務だけではなく、日常業務の中から異常を発見し解決する非定型業務（以下プロジェクトと言う）が多い。 プロジェクトマネジメントの基本的考え方を理解した上で、企業での実践的な仕事の進め方を身につけ以下の能力を持った人材の育成を目標とする。 ① 期限を決められたプロジェクトの計画を立案し、複数のプロジェクトメンバーをとりまとめて推進できる ② プロジェクト実行する上で起きるあらゆるリスクを予測し、回避策を立案し、最短の期間で仕事を完了できる。 ③ プロジェクト遂行上の報告、提案、メンバー間対話を的確にできる		成績評価の方法： 中間課題 50 点＋期末試験 100 点＋課題評価 150 点による総得点率 (%) によって成績評価を行う。 達成度評価の基準： 各回に教室外学習として与えた課題について、中間レポート及び総合課題レポートとして提出する。また、期末試験について授業内容の掌握状況を確認する。これらにより、その 6 割以上を正答の、または、課題レポート完成のレベルに達していること。成績評価への重みづけは均等である。 ① プロジェクトを計画、立案、日程管理、推進し完了できる ② プロジェクト遂行上のリスクを予測し回避策を準備できる ③ プロジェクトを最短期間で完了するための適正な仕事の手順を計画し実行できる ④ プロジェクトの推進メンバーをまとめて推進会議を主催できる ⑤ 自分の意志を的確に書面で報告し、加えて多人数の前で発表できる			
授業の進め方とアドバイス： 学生の能力を向上させるために、知識だけではなく課題を確実に実行することに重点をおく。実際に行われているプロジェクトの事例を分かり易く解説し、プロジェクトマネジメントを確実に実行できる実力をつける。 学生諸君自ら課題を実行することが大切で、将来にわたって役に立ち、企業で優位に立って仕事を進められると確信する。					
教科書および参考書：講師の作成した「プリント」を使用する。 参考書					
授業の概要と予定：後期		教室外学習（一部教室内での演習を含む）			
第 1 回：企業での業務推進、プロジェクトと何か	企業での業務推進に関する事例まとめ				
第 2 回：ビジョン策定、問題抽出、目標設定、	ビジョン策定、問題抽出、目標設定、関する課題レポートの作成				
第 3 回：W. B. S. (Work Break Structure) KJ 法	W. B. S. に関する役割演習：多人数の意見をまとめる				
第 4 回：スケジュール作成、PERT 図	スケジュール作成に関する課題：ガントチャートの作成				
第 5 回：意志決定、リスク予測、クリチカルパス	意志決定に関する課題レポートの作成				
第 6 回：スケジュール管理、経営資源	スケジュール管理に関する課題：大日程の作成				
第 7 回：コミュニケーションマネジメント、5W1H	コミュニケーションマネジメント演習：一枚レポート				
第 8 回：中間レポート確認と試験による理解度の確認	中間レポートの作成				
第 9 回：プロジェクトマネジメント演習 2 の企画立案	プロジェクトマネジメント演習 2 に関する状況調査				
第 10 回：成功に導くための状況調査	演習 2 に関する課題レポートの作成				
第 11 回：8 つのマネジメント項目	演習 2 に関する課題レポートの完成				
第 12 回：課題レポートのプレゼンテーションと審議 1	あらゆるリスクの予測と対処策のまとめ				
第 13 回：課題レポートのプレゼンテーションと審議 2	プロジェクト推進を成功させる重要項目まとめ				
第 14 回：課題レポートのプレゼンテーションと審議 3	推進者に必要な要件のまとめ				
第 15 回：課題レポートのプレゼンテーションと審議 4	プロジェクトマネジメント実務のまとめ				
期末試験					
第 16 回：フォローアップ（期末試験の解答の解説など）					